

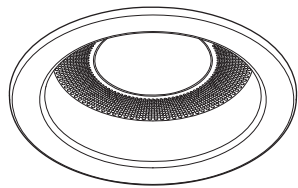


取扱説明書

住宅用照明器具 (スピーカー付ダウンライト・親器)

保管用

施工説明付き



LEDシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を参照ください



お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」(1~2ページ)を必ずお読みください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。



Qualcomm® aptX™
Low Latency

スピーカーをご使用にあたってはスマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器が必要です。また壁スイッチも必要です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

● 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

● 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように注意する
守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

照射物近接限度 10cm

(ドア・家具・布などの可燃物) 照射物



必ず守る



禁止



分解禁止

● 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

● 音がひずんだ状態で長時間使用しない
スピーカーが発熱し、火災のおそれがあります。

● 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以内で本器を使用しない
本器からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

● 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。

● 病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
- ◎1年に1回は別紙「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
- お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。



必ず守る



禁止

- 器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。
- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

工事店様へ

- 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- 施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

⚠ 注意

真空断熱ボードやアルミ蒸着防湿気密フィルムを使用した天井面に器具を取り付けしないでください。Bluetooth®接続ができないおそれがあります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

■天井

- 次のような場所には取り付けない
火災、落下によるけが、天井材破損、振動、音漏れのおそれがあります。
 - ・強度のない薄い天井面
 - ・ロックウールなどのやわらかい天井面
 - ・傾斜した天井面
 - ・システム天井
- ◎この器具は天井面埋め込み専用です。
- ◎石こうボード(9mm以上)に取り付けられます。
- 特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない
過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会SB・SGI・SG形適合品
マット敷工法 ブローイング工法



- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける
守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。
照射物近接限度10cm
(ドア・家具・布などの可燃物) 照射物
- 本体を埋込穴に確実に押し込む
押し込みが不十分な場合、ガタツキ、器具落下のおそれがあります。

■その他

- 屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない
火災のおそれがあります。


■壁スイッチ

- 照明用電源と接続する調光器は当社製適合ライトコントロールを使用する
指定以外のライトコントロールと組み合わせて使用すると、火災のおそれがあります。
- ◎ライトコントロールの注意事項についてはライトコントロールの説明書をご確認ください。
当社製適合ライトコントロール
・ライトコントロール(起動方式LB対応用)
- 調光機能が付いた壁スイッチとスピーカー用電源を接続しない
火災のおそれがあります。

■その他

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う
取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- 電源線は端子台カバーの上から端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む
端子台カバー外れや差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。
- 送り総容量は4A以下にする(照明器具専用)
火災のおそれがあります。
- 器具の取付部を除く外かくが、天井内の造営物ダクトなどの設備に触れないよう施工する
接触すると、火災、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

-  ●浴室など湿気が多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
- 水ぬれ禁止 ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。
- 周囲温度は、5℃～35℃の範囲で使用する
指定外の周囲温度で使用すると、火災または
短寿命の原因となります。

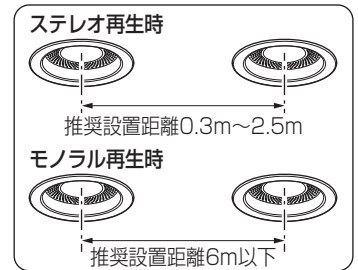


禁止

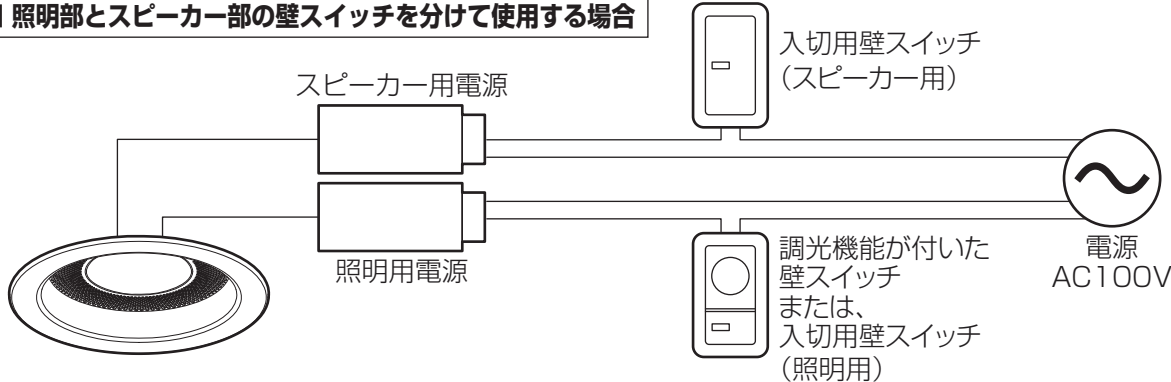
- 温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。
- ◎レンジなど温度の高くなるものの上
に取り付けないください。
- 照明用電源とスピーカー用電源を重ね置き
しない
寿命低下の原因となることがあります。

施工前のご確認事項

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・スピーカー部の初期設定を行うとき、壁スイッチが必要です。
 - ・調光機能が付いた壁スイッチとスピーカー用電源を接続しないでください。
 - ・点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
- 照明をほたるスイッチと接続する場合は1回路につきスイッチ3個までで使用ください。
4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。
- LED照明器具を送り配線する場合は、ライトコントロールの最大負荷容量かつ接続可能台数までで使用ください。
- 真空断熱ボードやアルミ蒸着防湿気密フィルムを使用した天井面に器具を取り付けしないでください。
Bluetooth® 接続ができないおそれがあります。
- システム天井などの吸音性や防振性が低い天井に器具を取り付けしないでください。
スピーカーの音漏れや振動が階上の床面に伝わりやすくなります。
- スピーカー部を吊り木や野縁受けなどの天井裏の構造部材に触れさせないでください。
スピーカーの振動が階上の床面に伝わりやすくなります。
- 照明器具の送り総容量（照明器具専用）は4A以下です。ご使用されるスイッチなどにより総容量が制限される場合があります。スイッチなど、最大負荷および、接続可能台数をご確認いただき、その範囲内でご使用ください。
- ステレオ再生する場合の、スピーカー付ダウンライト間の推奨設置距離は0.3m～2.5mです。0.8m以上離すと、よりステレオ感を感じられません。0.3m～2.5mの範囲を超えて近づけたり、離したりすると、ステレオ感が得られなくなります。
- 天井裏の器具間に障害物等がある場合、ペア用子器に同梱の同軸ケーブル（2.5m）では届かない場合があります。その場合、別売同軸ケーブル10m（品番：LGK02900）を使用してください。
- モノラル再生する場合の、スピーカー付ダウンライト間の推奨設置距離（音が空間全体にバランスよく広がる距離）は6m以下です。

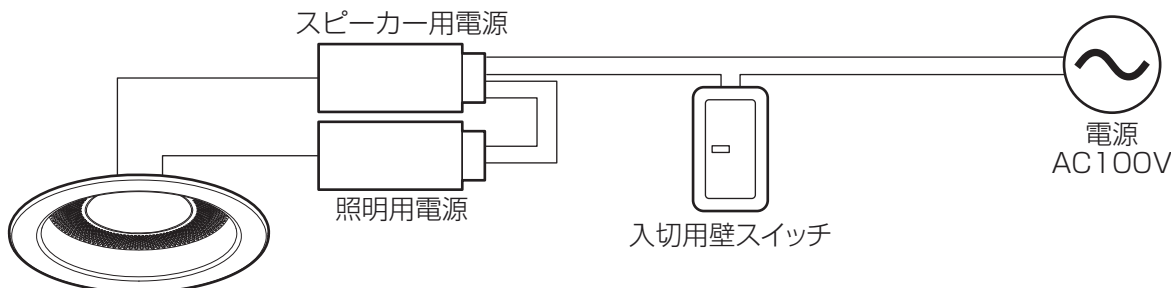


■ 照明部とスピーカー部の壁スイッチを分けて使用する場合



■ 入切用壁スイッチ 1個で照明部とスピーカー部を使用する場合

- ・照明部とスピーカー部を個別に操作することはできません。
- ・調光機能が付いた壁スイッチと接続しないでください。



【器具自体の留意点】

- Bluetooth® 機器や音楽、動画によっては、音割れや雑音が発生することがあります。
その場合、Bluetooth® 機器側で音量をさげてください。
- Bluetooth® 機器側の音質調整で低域や高域を上げすぎると音がひずむことがあります。
その場合、Bluetooth® 機器側の設定を調整してください。
- スピーカー部の壁スイッチがONの場合、音声停止時も待機時消費電力を消費しています。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるさしきみ音が照明器具から発生することがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 複数灯を同時に点灯させる場合、始動時間にバラツキが生じる場合があります。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具の近くでは、バーコードリーダーが正しく読み取れないおそれがあります。
- 水のかかる場所や直接油煙・湯気のかかる場所に設置しないでください。音質が劣化する可能性があります。
- スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。スピーカーの磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
- スピーカーの音量を上げすぎるとスピーカーの振動が階上の床面に伝わりやすくなります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。
特に静かな夜間には窓を閉めるのも1つの方法です。



周辺機器のノイズや障害物の影響を受けて正常に動作しないことがあります。

- 電波到達距離は、障害物のない水平見通し空間で約10mです。障害物や設置環境によっては電波到達距離が短くなったり、電波が弱くなったりします。
- 照明器具やスマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器の近くで
 - 1) 携帯電話やPHS電話、スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器をご使用のとき
 - 2) 直流電圧で駆動するベルやモーターをご使用のとき
 - 3) 電子レンジなどの家電製品、パソコンやOA機器、無線LAN対応機器、電子タグ、その他2.4GHz帯の電波を使用する機器をご使用のとき
 - 4) マイクロ波治療器をご使用のとき
 - 5) 天井埋込形エアコンや天井吊りプロジェクターなどの金属製品を設置しているとき
- スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器と照明器具の間を間仕切りなどで遮っているとき
- スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器・照明器具の周りを家具や金属製のキャビネット・パーティション・ボードなどで囲んでいるとき
- テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域、または近くに各種無線局のある場所でご使用のとき

【電波について】

- 本器の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 1. 本器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、電波の発射を停止してください。

2.4FH1

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS変調方式です。

1 : 電波干渉距離は10mです。

———— : 全帯域を使用し、移動体識別装置の地域を回避可能です。

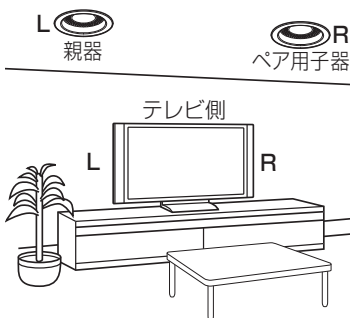
各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

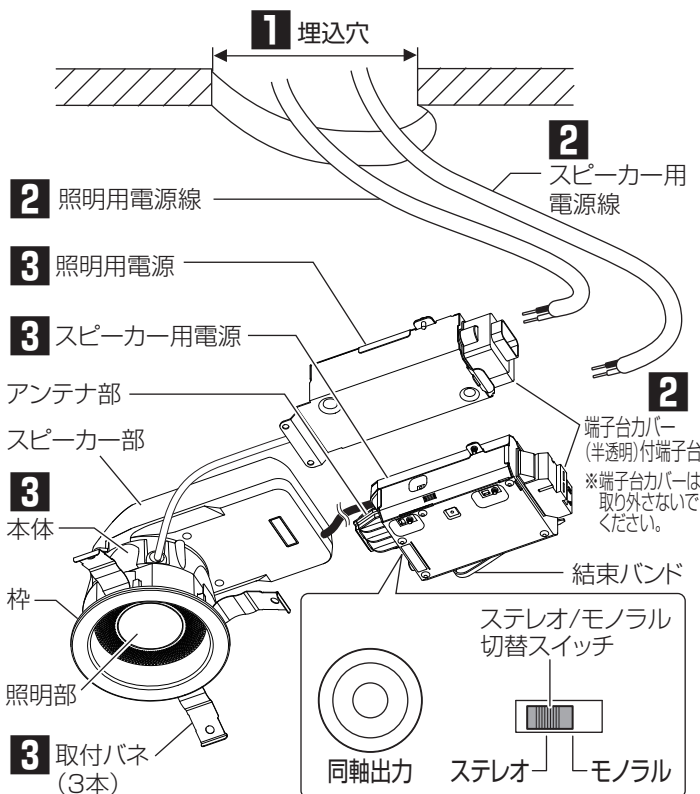
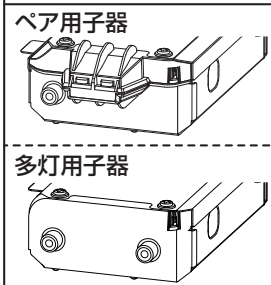
取り付け前のご注意

- ・施工時、埋込高さは100mm以上必要となります。
- ・表面に凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。
- ・器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。
- ・親器のステレオ/モノラル切替スイッチは、ステレオ再生で使用される場合→「ステレオ側」へ切り替えてください。モノラル再生で使用される場合→「モノラル側」へ切り替えてください。
- ◎ステレオ再生ができるのは、ペア用子器と接続する場合のみです。親器のみ、または多灯用子器と接続する場合はモノラル再生でご使用ください。
- ◎ステレオ設定時、親器はL(左)、子器はR(右)になります。
- ◎出荷時は、モノラルで設定しています。
- ・ワイヤレス送信機(品番:HK8900・別売)と子器を使用し、ステレオ設定でテレビの音声を再生する場合、テレビの位置に合わせて親器と子器を配置ください。

【配置例】



ペア用子器と多灯用子器はスピーカー用電源の形状が異なります



※これは一部簡略化した図です。

1 天井に埋込穴をあける

・下記寸法の埋込穴をあける

| 天井の厚さ | 埋込穴寸法 |
|--------------|------------|
| 5mm以上 25mm以下 | φ100 ± 1mm |

◎指定寸法でない場合、すき間が空き気密性が保たれないおそれがあります。精度よく穴をあけるために、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

2 端子台に電源線を接続する

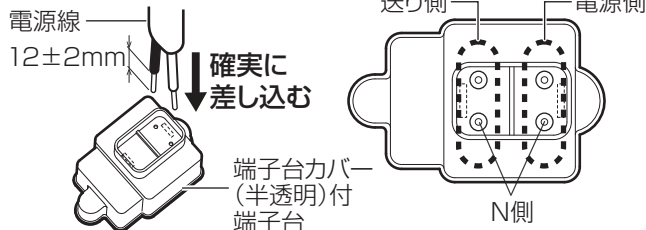


警告

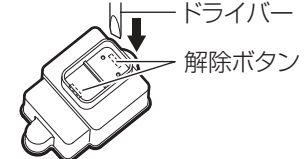
- 調光機能が付いた壁スイッチとスピーカー用電源を接続しないでください。
- 端子台カバー(半透明)付端子台に電源線を確実に差し込む(端子台カバーは外さずそのまま差し込んでください)
- 送り総容量は4A以下です。守らないと、火災のおそれがあります。

・適合電線：VVF φ1.6、φ2.0単線

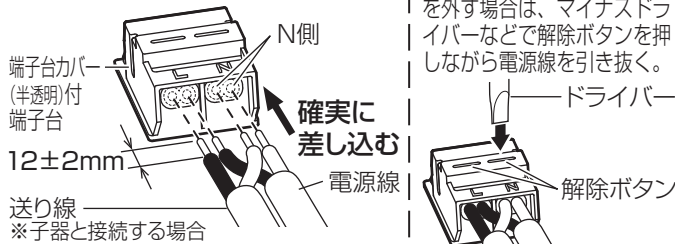
照明用電源側端子台



器具の取り替えなどで電源線を外す場合は、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。



スピーカー用電源側端子台



器具の取り替えなどで電源線を外す場合は、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。

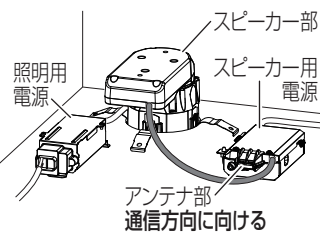


3 本体を埋込穴に取り付ける



注意

- 照明用電源、スピーカー用電源は器具や周囲の金属に触れさせないでください。
- 照明用電源とスピーカー用電源を重ね置きしないでください。
- 壁面近くに器具を設置する場合は、アンテナ部をスピーカー部と照明用電源から避けて通信させたい方向に向けてください。



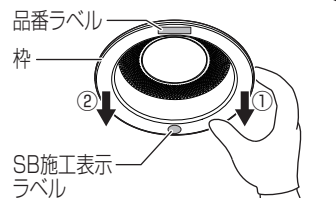
- 1 照明用電源とスピーカー用電源を埋込穴に入れる
- 2 取付パネ(3本)を押さえながら、本体を埋込穴に押し込む
- 3 スピーカー用の入切用壁スイッチをONにし、接続したそれぞれのスピーカー部から音が鳴ることを確認する



器具を取り外す場合

- ・枠を①、②の順にゆっくり引き下げる
- ・パネ(3本)を押し曲げて埋込穴から外す

注) 天井材を破損しない様にご注意ください。



音楽を再生する

ご使用前の準備 (Bluetooth® 機器をペアリングする)

- ・この製品はBluetooth®機能を搭載した器具です。
- ・スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器およびワイヤレス送信機（品番：HK8900・別売）で操作することができます。
- ・1台のスピーカー（親器）に対して、複数のスマートフォン・タブレットを同時に使用できません。
- ・1台のスマートフォン・タブレットに対して、使用できるスピーカー（親器）は1台のみです。
- ・事前にワイヤレス送信機(品番:HK8900・別売)と接続している場合、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。
- ・スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器が他のBluetooth®音楽再生機器と接続されていると、本機器と通信ができなくなります。他のBluetooth®音楽再生機器の接続を解除してから設定してください。
- ・本機器にペアリングできるBluetooth®機器は最大8台です。
最大ペアリング数を超過して登録すると、Bluetooth®接続した順番が古いものから上書きされ、上書きされたBluetooth®機器はペアリングが解除されます。上書きされたBluetooth®機器を再度お使いいただくには、ペアリングをやり直してください。
- ・スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器に搭載のワンセグやFMラジオ等の音声を再生する場合、その機器の仕様や設定により、再生できないことがあります。
- ・機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法、表示、動作が異なる場合があります。
- ・スピーカー自体には音量調節機能を搭載していないため、Bluetooth®機器の仕様によって音量調節ができない場合があります。
- ・接続完了後、スピーカーから大音量で出力される場合がありますのでBluetooth®機器を再生する前に音量を下げてください。

機器を登録・接続する

1.スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器の設定

スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器の設定方法に従い、Bluetooth®をONにしてください。

2.初期設定(ペアリングを行う)

スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器の設定方法に従い、壁スイッチ※をONにしてから2分以内にペアリングを行ってください。（壁スイッチ※をONにするとスピーカー部から音が鳴ります。）

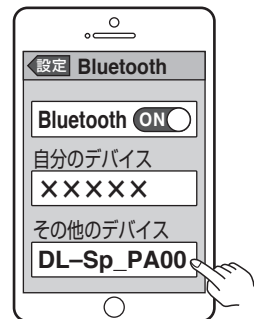
スピーカーの機器名は「DL-Sp_PA00」を選んでください。

ペアリングが完了すると、スピーカーから接続完了音が鳴ります。

壁スイッチ※ON後、2分以内にペアリングが完了できない場合は、一度壁スイッチ※をOFFにしてから、再度ONにしてください。

※：スピーカー部の壁スイッチ(照明部とスピーカー部の壁スイッチを分けている場合)

メモ ペアリングとは、Bluetooth®機器とスピーカー部をお互いに登録するための初期設定です。登録されたスピーカーについては、再度ペアリングする必要がありません。接続が解除された場合、下記「1.接続を行う」の手順を行ってください。



登録されている機器を接続・再生する

1.接続を行う

Bluetooth®機器の設定方法に従い、スピーカーの機器名「DL-Sp_PA00」を選び、スピーカー部と接続してください。接続が完了すると、スピーカー部から接続完了音が鳴ります。

※選択しても接続できない場合は、Bluetooth®機器の設定方法に従い、「DL-Sp_PA00」を一度削除してから、上記「2.初期設定(ペアリングを行う)」の手順からやり直してください。

メモ Bluetooth®機器との接続については、機器によってはペアリングと同時に接続されます。接続が解除されている場合のみ本操作を行ってください。

【接続が解除される例】

- ・Bluetooth®機器が本機器と通信範囲外になった場合
- ・スピーカー部の電源がOFF(壁スイッチ)となった場合



2.音楽を再生する

Bluetooth®機器側で、音楽や動画を再生してください。

Bluetooth®機器側で、音量を調節してください。

テレビとの接続時のご注意

以下ダウンライトとは、スピーカー付ダウンライトのことです

- テレビとの接続にはワイヤレス送信機（品番：HK8900・別売、テレビのヘッドホン端子に接続）を使用します。
- 音声出力は「ダウンライトのみ」「ダウンライトとテレビの両方」をテレビ側で選択できます。（テレビのメーカーや品番によっては、未対応のものもあります。）
接続したダウンライトの音量調節方法はテレビにより異なります。（テレビのメーカーや品番によっては、一部、音量調節ができないものがあります。）
必ずテレビの取扱説明書をご確認いただくか、もしくはテレビメーカーにお問い合わせいただきますよう、お願いします。
- テレビにBluetooth®機能があり、スピーカーなど外部オーディオ機器と接続できる場合でも、接続可否・接続方法はテレビのメーカー、品番により異なります。テレビのBluetooth®のバージョン、対応プロファイル、対応コーデックをご確認ください。
接続方法や操作方法など詳細は、必ずテレビの取扱説明書をご確認いただくか、もしくはテレビメーカーにお問い合わせいただきますよう、お願いします。
テレビ側の対応コーデックにQualcomm® aptX™ Low Latencyが含まれない場合は、音声が遅れ、映像と音声のずれが発生しますので、ワイヤレス送信機（品番：HK8900・別売）のご使用を推奨します。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
 - 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- 確認** シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損、音質低下の原因となります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

| 現象 | 考えられる原因 | 処置 | 参照ページ | |
|---|--|---|------------------------|------------------------|
| 音楽の操作ができない | Bluetooth®機器とスピーカーのペアリングや接続を解除した | 再度ペアリングや接続を行う | 6ページ 「音楽を再生する」 | |
| | Bluetooth®機器とスピーカーのペアリングや接続ができていない | ペアリングや接続を行う | | |
| | Bluetooth®機能がOFFになっている | Bluetooth®機能をONにする | | |
| | Bluetooth®機器の音量が最小または消音になっている | Bluetooth®機器の音量を調整する | | |
| | 音楽ソースが正しく選択されていない | 正しい音楽ソースを選択する | | |
| | 壁スイッチ※がOFFになっている | 壁スイッチ※をONにする | | — |
| | スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器・スピーカー部の周りが金属製のもので囲われている | 金属製のものを取り除く | | — |
| | スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器と照明器具の間に障害物がある | 障害物を取り除く | | 4ページ 「ご使用上に関するお知らせ」 |
| | スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器と照明器具の距離が離れている | スピーカー部に近づく | | — |
| | 強い電波を発生する機器が近くにある | 強い電波を発生する機器を遠ざける | | — |
| スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器が他のBluetooth®音楽再生機器と接続されている | 他のBluetooth®音楽再生機器の接続を解除後、再度接続を行う | 6ページ 「音楽を再生する」 | | |
| 本器のスピーカーから音が鳴らない | 他のスピーカーと接続している | Bluetooth®機器と他のスピーカーの接続を解除後、再度接続を行う | — | |
| 音が途切れる | 電波環境が悪い | 使用していない他のBluetooth®機器の電源を切る | 4ページ 「ご使用上に関するお知らせ」 | |
| | Bluetooth®機器と照明器具の距離が離れている | 照明器具に近づく | — | |
| | 高音質の音声を長時間再生している | スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機能をOFF後、再度ONにする | 6ページ 「音楽を再生する」 | |
| 再生中の音声と映像がずれる | スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器がQualcomm® aptX™ Low Latencyに対応していない | — | — | |

※：スピーカー部の壁スイッチ（照明部とスピーカー部の壁スイッチを分けている場合）

上記の処置を行っても現象が続く場合

電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる

- 上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください。

仕様

品番は器具のラベルをご参照ください

| 品番 | | LED | | 使用電圧 | 周波数 | 消費電力 | 入力電流 | | |
|-------------|-------------|-----|-------------------|-------------|---------------|--|--|---|--|
| 枠:ホワイトつや消し | 枠:ブラックつや消し | | | | | | | | |
| LGD1116NLB1 | LGD1150NLB1 | 昼白色 | マイルド 拡散 タイプ | AC 100 V | 50/60 Hz共用 | 13.9W (照明動作時 6.9W スピーカー動作時 7.0W 待機時状態 (20分以内) 1.0W 待機時状態 (20分以降) 0.6W) | 0.21A (照明動作時 0.07A スピーカー動作時 0.14A) | | |
| LGD1116VLB1 | LGD1150VLB1 | 温白色 | | | | | | | |
| LGD1116LLB1 | LGD1150LLB1 | 電球色 | | | | | | | |
| LGD1136NLB1 | LGD1170NLB1 | 昼白色 | 集光 タイプ | | | | | | |
| LGD1136VLB1 | LGD1170VLB1 | 温白色 | | | | | | | |
| LGD1136LLB1 | LGD1170LLB1 | 電球色 | | | | | | | |
| LGD3116NLB1 | LGD3150NLB1 | 昼白色 | マイルド 拡散 タイプ | | | AC 100 V | 50/60 Hz共用 | 17.9W (照明動作時 10.9W スピーカー動作時 7.0W 待機時状態 (20分以内) 1.0W 待機時状態 (20分以降) 0.6W) | 0.25A (照明動作時 0.11A スピーカー動作時 0.14A) |
| LGD3116VLB1 | LGD3150VLB1 | 温白色 | | | | | | | |
| LGD3116LLB1 | LGD3150LLB1 | 電球色 | | | | | | | |
| LGD3136NLB1 | LGD3170NLB1 | 昼白色 | 集光 タイプ | | | | | | |
| LGD3136VLB1 | LGD3170VLB1 | 温白色 | | | | | | | |
| LGD3136LLB1 | LGD3170LLB1 | 電球色 | | | | | | | |

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

| | | | |
|----------------------|--------------------|--|-------------|
| アンプ | 実用最大出力 | 10W(1kHz,T.H.D 10%,6Ω,20kHz LPF,JEITA) | |
| スピーカー | 形式 | 1ウェイ1スピーカー 密閉型 | |
| | 使用スピーカー インピーダンス | 5cmコーン型フルレンジ ×1 6Ω | |
| | バージョン | Ver.2.1+EDR | |
| スピーカー部 Bluetooth® | 出力 | Class2 (2.5mW) | |
| | プロファイル | A2DP (SCMS-T対応) | |
| | 対応コーデック | Qualcomm®aptX™ Low Latency,SBC | |
| | 通信方式 | 2.4GHz band FH-SS | |
| | 見通し通信距離 | | 約10m |
| | | | 高さ1mの位置にて測定 |
| | 登録機器台数 | | 最大8台 |